

災害時の赤十字活動

救えるはずの命を諦めたくない。それが私たちの原動力です。

災害が発生!



地域のインフラ機能停止

治療や薬の処方が受けられない



大規模な災害時には地元の医療機能が停止し、ケガの治療や薬の処方が受けられなくなる恐れがあります。

生活に必要な物が揃わない



交通断絶等による物資の不足が生じ、不自由な生活が長期に渡って続く可能性があります。

災害発生

直ちに急行!



赤十字の医療救護班は、全国に配備されているため、日本のどこで災害が起きても、すぐに現地へ駆けつけることができます。

医療救護



蛍光灯を手に、少ない明かりで全力で治療に当たる医療救護班。



日頃の備えなくして人命の救助は成し得ません。赤十字は、訓練や研修を重ね、救護要員の育成に努めています。

救う

巡回診療



医療機能が停止した地域には医療救護班が直接出向き、ご自宅や避難所で診療を実施します。

救援物資の配付



備蓄している毛布、安眠セット、緊急セット等の救援物資を配付します。



支える

保健衛生



長期化する避難所生活により体調を崩される方が多発するため、継続的な健康管理を行います。

こころのケア



被災された方のストレスを少しでも軽減するために、心理的・社会的なサポートを行います。

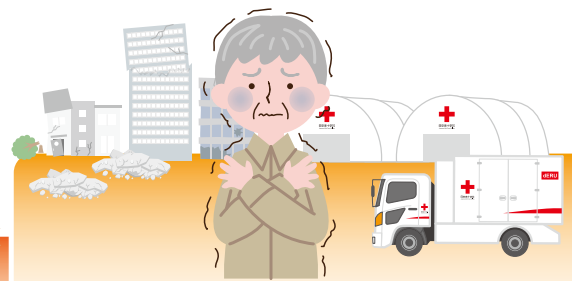
寄り添う

命を繋ぐ



被災された方々が少しずつでも前を向いて歩いていけるよう、安心と笑顔をお届けすること。子どもたちの未来のために、災害の教訓を次の世代へ繋いでいくこと。どちらも私たちの大切な使命です。

未来へ



これからも安心して暮らせる社会のために

日本赤十字社へのご協力をお願いします